

地域政策学部地域政策学科のディプロマ・ポリシー

地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材として、次の能力を身につけた者で、定められた年限在学し、所定の単位を修得した者に学士(地域政策学)の学位を授注します。

1. 知識・理解

社会科学・人文科学系の学問領域を中心として幅広い知識を修得し、それらの知識を活用しながら、地域の諸課題について多面的に理解することができる。

2. 思考・判断

世界、そして日本全体の政治・社会・経済の動向を見据え、多様な知識を融合・活用しながら、地域の諸課題に対する解決策を構想することができる。

3. 態度・実践

地域の自律的・持続的発展に向けた政策構想について、倫理的妥当性と実現可能性、そして地域社会との協働を視野に入れた議論を展開することができる。

4. 技能・技術

地域の諸課題について、多様かつ広範な視点から調査・考察し、その成果を、自律した個人として、他者に分かりやすく、論理的に発信することができる。

地域づくりコースのディプロマ・ポリシー

ゴールである「地域で生きる自立型人材」をめざして、次の能力を修得し、定められた年限在学し、所定の単位を修得した者に学士（地域政策学）の学位を授与します。

1. 知識・理解

「社会・公共」「文化・思想」「自然・環境」「企画・表現・発信」等の観点から個々の地域社会を総体的に捉え直す地域研究を行い、それらの知識・技術を活用しながら、地域社会を特徴づける課題を多面的に理解することができる。

2. 思考・判断

地域が保有する資源（社会関係・歴史文化・自然環境等）を、人文・社会科学の手法を用いて考究し、地域に根ざした社会・文化・経済の実態等について、歴史的経緯・持続可能な観点・生活者視点等、多様な見地から分析し、価値付けることができる。

3. 態度・実践

地域社会が抱える問題の解決に向けたプロジェクトを、学生同士や地域のさまざまなステークホルダー、地域住民と協力・協働しながら、率先して企画・立案・実行することができる。

4. 技能・技術

地域研究を通して問題解決のためのプロジェクトを企画・立案・運営する技能・技術を身につけ、その成果をコンペやシンポジウム等で分かりやすく発信することができる。